

令和8年度 第1回 宇都宮市民大学運営協議会

【日時】 令和8年4月20日（月）
午後2時00分～午後3時00分

【場所】 人材かがやきセンター研修室
（宇都宮市中央生涯学習センター5階）

1 開会

2 議事

(1) 報告事項

- ・ 報告第1号

令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

- ・ 報告第2号

令和7年度宇都宮市民大学収支決算について

(2) 協議事項

- ・ 協議第1号

令和8年度宇都宮市民大学事業計画（案）について

- ・ 協議第2号

令和8年度宇都宮市民大学収支予算（案）について

3 その他

4 閉会

宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間
(令和6年9月1日～令和8年8月31日)

1	◎	丸山 純一	文星芸術大学 副学長
2	○	野中 正知	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 常務理事兼本部事務局長兼栃木県総合文化センター館長
3	◇	赤羽 幸雄	とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・らマネージャー
4		荒井 隆	国立大学法人 宇都宮大学 社会共創・情報部社会共創・研究課長
5		薄羽 正明	学校法人 宇都宮美術学院 宇都宮メディア・アーツ専門学校 学校長
6	◇	大谷 佳久	株式会社 栃木放送 報道制作局長
7		大町 浩美	株式会社 下野新聞社 編集局総務部長
8		坪山 恵子	宇都宮短期大学音楽科 専任講師
9		中里 雅代	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
10		目加田 友子	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ グループ「七福人」

◎ 会長 ○ 副会長 ◇ 監事

宇都宮市民大学運営協議会事務局名簿

役職	氏名	備考
事務局長	吉澤 広明	教育委員会事務局 生涯学習課課長
事務局次長	白井 隆浩	〃 生涯学習課課長補佐
事務局員	安田 暁子	〃 生涯学習課係長
〃	吉田 泰弘	〃 生涯学習課総括
〃	鈴木 豪	〃 生涯学習課社会教育主事
〃	宮城 拓也	〃 生涯学習課社会教育主事
〃	菊池 美咲	〃 生涯学習課主任主事
〃	角田 佑樹	〃 生涯学習課社会教育主事
〃	金田 陽南子	〃 生涯学習課主事
〃	塚田 哲夫	〃 生涯学習課会計年度任用職員
〃	松永 佳寿子	〃 生涯学習課会計年度任用職員
〃	藤田 莉帆	〃 生涯学習課会計年度任用職員
〃	宮田 節子	〃 生涯学習課会計年度任用職員

2 報告事項

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「ともしび」企画講座

【Ⅰ 郷土を愛する宇都宮学コース】

①歴史に見る鬼怒川

～川の怒りと恩恵・川の変容～

【開催期間】

10月16日～12月4日（全7回）

講師

元宇都宮市文化財保護委員会 委員長 大嶽 浩良 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
90名	80名	0.89倍	80名	74名（92.5%）	100%

講座の評価

近世から現代までの鬼怒川の歴史を「自然と人の共存」というテーマから学び、鬼怒川が周辺地域にもたらした被害や恩恵、人々の水運利用について、受講生の理解が深まる講座となった。

また、受講者から寄せられる質問に対し、次回の講座で回答するフィードバックを行うなど、学習の手法の工夫は、受講者からも好評であった。

市民大学に登壇してほしい講師としてリクエストが多く寄せられている、大嶽氏による講座ということもあり、高い満足度となった。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「宙」企画講座

【Ⅱ 今を読み解く現代社会コース】

②科学の進歩と文明の近未来を考える

～私たちの生活は科学により進化するのか？どのような文明に発展するのか？～

【開催期間】

10月25日～11月22日（全5回）

講師

帝京大学理工学部総合理工学科	准教授	湯川	英美	氏
静岡県交通基盤部建設政策課イノベーション推進班	班長	川田	祐一	氏
読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局		大石	暁	氏
株式会社大林組グリーンエネルギー本部	担当部長	梶木	盛也	氏
帝京大学	名誉教授	飽本	一裕	氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
90名	50名	0.56倍	50名	48名（96%）	90.9%

講座の評価

環境や産業社会に変革をもたらす技術と、社会の持続可能性や未来の私たちの生活など、5つのテーマにおいて、それぞれの分野の専門家から話を聞くことで、受講者の学びを深めることができた。

また、受講者アンケートにおいて「未来の日本の状況、課題を知る上で大変参考になった。」など、講座修了後の学習意欲の向上につながる意見が見られた。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

宇都宮大学連携講座

【Ⅱ 今を読み解く現代社会コース】

③「こども」「高齢者」の枠組みを超えて ～様々な視点から考える少子高齢化社会～

【開催期間】

11月20日～12月25日（全5回）

講師

宇都宮大学共同教育学部	教授	長谷川 万由美 氏
宇都宮大学地域デザイン科学部	教授	大森 宣暁 氏
宇都宮大学農学部	教授	山本 美穂 氏
宇都宮大学地域創生推進機構 宇大アカデミー	教授	佐々木 英和 氏
宇都宮大学地域デザイン科学部	准教授	長田 哲平 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
90名	23名	0.26倍	23名	21名（91.3%）	100%

講座の評価

各世代に限定した視点にとらわれず、複数の講師による多様な視点から、現代日本が抱える少子高齢化にまつわる課題へアプローチする研究を受講者に対して紹介することができた。

募集人数と比較して受講者数が少数ではあったが、グループに分かれての話し合いや実際に体験する時間が充実し、多くの受講生が意欲的に取り組める講座となった。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「宙」企画講座

【Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース】

④大和朝廷誕生の謎に迫る

～九州説の日向国か？畿内説の奈良県纏向遺跡か？～

【開催期間】

10月21日～12月2日（全7回）

講師

NHK文化センター宇都宮教室 講師 高橋 昭夫 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
90名	118名	1.31倍	86名	76名（88.4%）	91.5%

講座の評価

多くの謎に包まれた大和朝廷について、どのような経過で誕生したのかを日本や中国の歴史書などから紐解くとともに、館外学習において、さきたま古墳群発掘の物的証拠などを参考にして、受講者が興味・関心をもって受講し、理解を深められる講座となった。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「ともしび」企画講座

【Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース】

⑤見る・知る・わかる 仏像の歴史

【開催期間】

10月21日～11月18日（全5回）

講師

文星芸術大学 教授 大澤 慶子 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
90名	93名	1.03倍	83名	81名（97.6%）	93.0%

講座の評価

京都・奈良における仏像の基準作例や、地元栃木や宇都宮の作例の映像を見ながら、仏像の時代的な特徴を学び、身近にある素晴らしい仏像を知ること、改めてわが国やふるさと宇都宮の歴史と魅力に触れることができ、受講者の修了率・満足度ともに高い講座となった。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「大山真一」企画講座

【Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース】

⑥ 蔦重の時代と浮世絵のその後

【開催期間】

10月20日～12月15日（全6回）

講師

浮世絵研究家 茂木本家美術館 副館長 長井 裕子 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
90名	81名	0.91倍	81名	72名（88.9%）	100%

講座の評価

蔦重が10代半ばの頃の多色摺木版画「錦絵」の誕生から、蔦重が歌麿や写楽をプロデュースして浮世絵界を盛り上げる「浮世絵黄金期」、そして、葛飾北斎や歌川広重、歌川国芳が活躍する江戸後期・幕末期まで、浮世絵の歴史や基礎知識を学ぶことによって、蔦重の活躍やその時代背景について受講者の理解が深まる講座となった。

講座と同時進行で大河ドラマが放映されていたこともあり、受講者の満足度も高く、アンケートでは多数の感想やご意見をいただいた。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

専門講座の実績

項目	令和7年度	令和6年度	令和5年度
講座数	12講座	12講座	12講座
受講者数	756人	703人	677人
修了者数	686人	634人	526人
修了率※	90.7%	90.1%	91.6%
定員の上限	90人	80人	60人
備考	・令和4年度に実施したVスタッフ「大山真一」企画講座をリクエスト講座として事務局枠で実施	・館外学習を積極的に導入し、12講座のうち4講座で実施	・令和4年度Vスタッフ養成講座修了生に事務局企画枠を提供 ・宇都宮メディア・アーツ専門学校と連携し「録画配信コース」を導入

※ 令和5年度：修了の規定のない「柳田邦男氏講演会」と「録画配信コース」の受講者数を除いて算出

総合的な評価

専門講座については、定員の増員により前年度よりも受講者数が増え、より多くの市民に学習機会を提供することができた。

また、ワークショップや館外学習を取り入れたことで、受講者から高い満足度を得ることができた。

アンケートでは、**学んだ成果と講座の満足度に関する肯定的な回答がともに全体の9割を超えており**、高度で専門的な学習機会を提供する講座内容であったものと推察される。

今後の取組方針

受講者の高い満足度を維持できるよう、引き続き、受講者アンケートの結果などを踏まえ、講座内容の充実に努めていく。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

令和7年度宇都宮市民大学公開講座の実施状況について

1. 実施概要

日時：令和8年3月8日（日）13時30分～15時00分

会場：宇都宮市東生涯学習センターホール

講師：古川 登志夫 氏（声優）

講座名：レジェンド声優から学ぶ ～魅せる・伝える声の世界～

受講料：1,000円（18歳以下は無料）

2. 申込状況等

申込者数：933名（対面受講：851名，オンライン受講：82名，うち受講経験なし：859名，92.0％

受講者数：320名（対面受講：261名，オンライン受講：59名，うち18歳以下：103名，33.5％）

3 講座の様子

- ・声優として活躍する古川氏が，自身の生い立ちや声優になるまでの努力と葛藤，声優としての仕事の内容やその裏側などを語る内容となった。
- ・講座後半には，古川氏のご指導のもと会場の受講者全員で発声方法を実践する場面があり，受講者参加型で楽しめる講座となった。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

令和7年度宇都宮市民大学公開講座の実施状況について

4. 受講者の感想・意見（抜粋）

- ・大変興味深く聞かせていただいた。やはり大変な苦勞をされてきたとのことだったが、何事にもへこたれず生きてきたというお話にとっても感動した。栃木のことも大切に思ってくださっていることがよく伝わった。栃木に生まれ、同郷ということを楽ししく思った。
- ・とても楽しかった。声優のお仕事までの道のり、素敵な声が聴けてよかった。特に、一緒に「笑い」の発声を実践できて、楽しい公開講座だった。

総合的な評価

アニメ等で声優として活躍する講師の起用により、幅広い年代層から多数の申込みがあり、新規受講者の獲得や宇都宮市民大学の周知につながった。

アンケートでは、**講座の満足度に関する肯定的な回答がともに全体の9割を超えており**、高度で専門的な学習機会を提供する講座内容であったものと推察される。

【参考】 講座写真



2 報告事項

(2) 令和7年度宇都宮市民大学収支決算について

- (2) 令和7年度宇都宮市民大学収支決算については別紙をご参照ください。

参照先

- ・ 別紙1 令和7年度 決算書

1. 令和8年度事業の考え方

本市の社会教育分野において最も基本となる計画である「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」に基づき、市民のスキルアップやキャリアアップに生かせる、高度で専門的な学習ニーズに応えるとともに、「人材かがやきセンター主催講座」や「生涯学習センター主催講座」との差別化を図り、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座として、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の学ぶ意欲を高め、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える学習機会の提供に取り組む。

令和8年度については、令和7年度の実施状況や課題などを踏まえ、以下の点に取り組む。

● 体験型学習の実施

講座内容に応じて体験的な活動を多くとり入れると受講者の満足度が高くなる傾向にあることから、引き続き、講座内容に応じて多様な学習方法を取り入れていく。

● オンライン配信導入の検討

これまでのオンライン配信の実施状況や検討の過程から見えてきた課題を整理し、より多くの方が受講できるような学習環境の整備に向け、他の自治体の事例等も参考にしながら引き続き取り組んでいく。

2 協議事項

(2) 協議事項 令和8年度宇都宮市民大学事業計画（案）について

令和8年度宇都宮市民大学前期講座について

1. 実施概要

開催期間：令和8年5月18日（月）～7月18日（土）

会場：人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階） ほか

募集期間：令和8年4月1日（水）～15日（水）

講座コース・専門講座名（開講数）	講師	定員
I 宇都宮の自然を知るー地学編ー ～宇都宮の大地の歴史・足下に何がある～ (全6回)	栃木県立博物館名誉学芸員 栃木県文化財保護審議員 柏村 勇二 氏	90人
II 聞く・書く・語る “新たな気づき 言葉の力” ～言葉の力を知ろう～ (全7回)	済生会宇都宮病院 公認心理士 目加田 敏浩 氏 ほか	60人
II 地球沸騰化時代にそなえる ～幸せなカーボンニュートラルへの道～ (全5回)	宇都宮大学 教授 高橋 若菜 氏 ほか	90人
II 知って得する「医療とリハビリの最前線」！ ～50万都市宇都宮の人々の生活と命を守る～ (全8回)	済生会宇都宮病院 脳外科医 主任診療科長 稲栴 丈司 氏 ほか	90人
III 知られざる下野の古戦場 ～中世武将の歴史の舞台～ (全8回)	宇都宮共和大学 客員教授 江田 郁夫 氏 ほか	90人
III 国をつくる ～下毛野古麻呂の生涯～【文星芸術大学連携講座】 (全7回)	文星芸術大学 非常勤講師 福田 三男 氏	90人
		510人

2 協議事項

(2) 協議事項 令和8年度宇都宮市民大学事業計画（案）について

令和8年度宇都宮市民大学後期講座について

1. 実施概要

開催期間：令和8年10月～12月

会場：人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階） ほか

募集期間：令和8年9月1日（火）～15日（火）

講座コース	専門講座名
I 郷土を愛する「宇都宮学」コース	笑いで楽しく宇都宮を元気に
I 郷土を愛する「宇都宮学」コース	未来をひらくドローンの世界
Ⅲ暮らしを彩る文化・教養コース	千年の願いとコミュニティに 支えられて
Ⅲ暮らしを彩る文化・教養コース	栃木県内の石材と近現代における 活用を探る
Ⅲ暮らしを彩る文化・教養コース	学びなおしの楽しい科学再入門
【作新学院大学連携講座】（コース未定）	（未定）

2 協議事項

(2) 協議事項 令和8年度宇都宮市民大学事業計画（案）について

令和8年度公開講座実施（案）

多くの市民に学習機会を提供することにより，受講者の学習意欲の高揚を図るとともに，市民大学の更なる周知による認知度の向上と市民の受講促進を図る。

実施時期

令和9年2月頃（令和8年度宇都宮市民大学後期専門講座閉講後）

会場

宇都宮市文化会館小ホール等

講師

各分野の第一人者（著名人等）

受講料

1,000円程度

※詳細については，令和8年度8月開催予定の第2回運営協議会で協議する。

2 協議事項

(2) 令和8年度宇都宮市民大学収支予算（案）について

- (2) 令和8年度宇都宮市民大学収支予算（案）については別紙をご参照ください。

参照先

- ・ 別紙2 令和8年度 予算書

4 閉会

【連絡事項】

- (1) 次回の会議日程について
(令和8年8月頃 開催予定)

2 議事

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

講座企画・運営ボランティアスタッフ「ともしび」企画講座

【1 郷土を愛する宇都宮学コース】

①宇都宮空襲

【開催期間】

5月22日～7月3日（全7回）

講師

元宇都宮市文化財保護委員会 委員長 大嶽 浩良 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
90名	107名	1.19倍	82名	77名（93.9%）	97%

講座の評価

宇都宮空襲について軍・工場・民衆など様々な視点から理解することができる講座となった。

また、受講者から寄せられる多数の質問に対し、次回の講座で回答するフィードバックを行うなど、学習の手法の工夫は、受講者からも好評であった。

市民大学に登壇してほしい講師としてリクエストが多く寄せられている、大嶽氏による講座ということもあり、募集定員を上回る応募があり、高い満足度、修了率となった。

2 議事

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

講座企画・運営ボランティアスタッフ「宙」企画講座

【1 郷土を愛する宇都宮学コース】

② フランク・ロイド・ライトが拓いた大谷石 ～大谷石はなぜ有名になったのか～

【開催期間】

5月23日～7月4日（全7回）

講師

文星芸術大学 非常勤講師 橋本 優子 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
90名	62名	0.69倍	60名	52名（86.7%）	100%

講座の評価

フランク・ロイド・ライトが日本の大谷石に見出した魅力と建築における苦勞，ライト帰国後も広がる彼の影響力について学ぶことができる講座となった。

また，受講者から寄せられる多数の質問に対し，次回の講座で回答するフィードバックを行うなど，学習の手法の工夫は，受講者からも好評であった。

講師の知見を活かした専門的な講座であり，講義開始前に配布された資料で予習する受講者が見られるなど，満足度の高い講座となった。

2 議事

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

講座企画・運営ボランティアスタッフ「七福人」企画講座

【Ⅱ 今を読み解く現代社会コース】

③今を、これからを生きる私の「礎」
～「経験」から学ぶ「自分らしさ」のを見つけ方～

【開催期間】

5月27日～7月8日（全7回）

講師

済生会宇都宮病院 公認心理師 目加田 敏浩 氏
「花いちもんめー亡き娘へ、あなたが活きた四十三年ー」著者 伊東 桂子 氏
フリーライター 飯田 絵里 氏
済生会宇都宮病院 音楽療法士 金子 悦子 氏
ゆいの里@那須塩原 公認心理師 飯島 恵子 氏
栃木県立がんセンター 看護師 高田 芳枝 氏
宇都宮市立中央図書館職員

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
70名	27名	0.39倍	26名	24名（92.3%）	100%

講座の評価

人間の発達段階と心・書くことの意味・音楽・人生の終末期と命など、各講師陣による様々な角度からの講義を通して、自分らしさについて改めて考えることができる講座となった。

「私の礎ノート」を受講生に配布し、各講義を通して感じた思いなどを毎回記載してもらった。実際に図書館に訪れ、館内の見学を通して資料の活用方法を学ぶなど、全講義を通してワークショップの形式を取り入れたことで、満足度の高い講座となった。

2 議事

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

講座企画・運営ボランティアスタッフ「水沼明子」企画講座

【Ⅱ 今を読み解く現代社会コース】

④ 逃げ地図作り

～災害から命を守る～

【開催期間】

5月20日～6月24日（全6回）

講師

宇都宮大学 地域デザイン科学部	准教授	近藤 伸也 氏
宇都宮大学 地域デザインセンター	コーディネーター	土崎 雄祐 氏
日本都市計画家協会	理事	井上 雅子 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
50名	18名	0.36倍	18名	17名（94.4%）	93%

講座の評価

過去に日本で起きた災害とその被害、防災やハザードマップの重要性を学んだ上で「町歩き」を実施し、グループで逃げ地図を作成するワークショップにおいても、受講者同士の積極的な意見交換が見られるなど、満足度の高い講座となった。

受講者アンケートにおいても「逃げ地図作りのノウハウが習得できたことは非常に役に立った」「自治会の防災等の啓発活動に生かしたい」など、講座修了後の学習意欲の向上につながる講座となった。

2 議事

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

講座企画・運営ボランティアスタッフ「宙」企画講座

【Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース】

【5】下野の民衆（農民・工人・商人）は江戸時代をどのように生きたのか？
～徳川家康によってつくられた幕藩体制下、一般民衆の生活は～

【開催期間】

5月19日～7月7日（全8回）

講師

筑波大学 人文社会系	准教授	山澤 学 氏
下野民俗研究会		神野 安伸 氏
栃木県歴史文化研究会	会員	竹末 廣美 氏
東北大学 東北アジア研究センター	助教	寺内 由佳 氏
元栃木県立文書館		川田 純之 氏
常磐大学 人間科学部	教授	平野 哲也 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
90名	146名	1.62倍	85名	73名（85.9%）	96%

講座の評価

江戸時代の幕藩体制下を生きた下野の民衆の生活について、日光社参・狂歌・町と商い・流通・治安対策・農耕文化などから学ぶことができる講座となった。

また、募集定員を大きく上回る応募があった本講座では、各講師陣による豊富な史料を用いた解説が行われ、満足度の高い結果となった。

受講者アンケートにおいても「我が家の先祖がどう生きてきたのか気になった」など、講座修了後の学習意欲の向上にもつながる意見が見られた。

2 議事

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

宇都宮短期大学連携講座

【Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース】

⑥「食・健・音」で人生の過ごし方をより豊かに
～日々の暮らしを豊かにするために～

【開催期間】

6月5日～7月10日（全6回）

講師

宇都宮短期大学	食物栄養学科	教授	松田	千鶴	氏
宇都宮短期大学	食物栄養学科	教授	布川	かおる	氏
宇都宮短期大学	人間福祉学科	教授	益川	順子	氏
宇都宮短期大学	人間福祉学科	教授	小野	篤司	氏
宇都宮共和大学	子ども生活学部	准教授	大島	美知恵	氏
宇都宮短期大学	音楽科	講師	篠崎	加奈子	氏
宇都宮短期大学	音楽科	専任講師	坪山	恵子	氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
90名	82名	0.91倍	81名	76名（93.8%）	100%

講座の評価

食・健康・体と運動・音楽の分野から、自分の人生を豊かにするための知識を学ぶことができる講座となった。

自分の食生活の見直し・栄養価の計算・簡単な運動・楽器の演奏・歌など、各講座において実践的な要素が多く盛り込まれ、満足度の高い講座となった。

また、受講者アンケートにおいて「生活に活かしたい」という意見が複数みられ、講座修了後の学習意欲の向上に繋がる講座となった。

2 議事

(1) 報告事項 令和7年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

前期講座の実績（5月19日～7月10日）

	募集定員	応募者数	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
R7前期	480名	418名	352名	314名（89.2%）	98%
R6前期	410名	405名	326名	293名（89.9%）	96%
対前年度	+70名	+13名	+26名	+21名（△0.7%）	+2%

総合的な評価

6講座中2講座で定員を超える申込みがあった。

募集定員の上限を80名から90名へ引き上げた結果、昨年度前期と比較すると受講者数は増加しており、より多くの市民に学習機会を提供することができた。

アンケートでは、**学んだ成果と講座の満足度に関する肯定的な回答がともに全体の9割を超えており**、高度で専門的な学習機会を提供する講座内容であったものと推察される。

今後の取組方針

受講者の高い満足度を維持できるよう、引き続き、受講者アンケートの結果などを踏まえ、講座内容の充実に努めていく。

● 後期講座の実績（10月16日～12月25日）

	募集定員	応募者数	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
R7後期	540名	445名	403名	372名（92.3%）	95%
R6後期	420名	481名	377名	345名（91.5%）	94%
対前年度	+120名	△36名	+26名	+27名（+0.8%）	+1%

総合的な評価

6講座中2講座で定員を超える申込みがあり、今年度前期と比較すると募集定員を増やしたこともあり受講者数が増加していたことから、より多くの市民に学習機会を提供することができた。

また、後期では館外学習を実施したことで、講座内容の理解促進と受講者の満足度向上にもつながるものとなった。

アンケートでは、**学んだ成果と講座の満足度に関する肯定的な回答がともに全体の9割を超えており**、高度で専門的な学習機会を提供する講座内容であったものと推察される。

今後の取組方針

受講者の高い満足度を維持できるよう、引き続き、受講者アンケートの結果などを踏まえ、講座内容の充実に努めていく。